OBだより

京外工能楽部
OB会発行

4号

卒業して早くも三年が経ち、現在は

中村　操（旧・中本）
〔S.51年卒業〕

一才四ヶ月の男の子の母親です。自分でアンヨができるようになったので、行動範囲がグンと広くなり、新米の母親は毎日チビッコに振りまわされながら、家事、育児に専念しています。時々謡曲を口ずさんでいると、そばにいる私の顔をのぞきこんで不思議そうな顔をして、じっと聞きいっています。

学生時代を振り返ってみると、良き先生方、良き先輩の方々、良き友達、良き環境に恵まれ、素晴しい時でした。と同時に、"能楽"というものを通して、精神面において数多くの心の糧を得たように思います。

今では、時々、"面の京"と言われる山口市に出かけることがありますが、その度に京都のにたずまいを思い出し、友達と語りあったことが昨日の出来事のように浮んできます。

又、いつの日にか京都に出かけて、一人で散策してみたいと思っています。その時は友達と集えればこれにこしたことはありませんが……。



最後に、このOBだよりを発行するにあたり編集担当の方は、毎回大変な御苦労をなさっていらっしゃることと思います。厚く感謝致しますと同時に、やはり発行を大変心待ちにしておりますので、どうぞ末永くよろしくお願い致します。

私は今春、京都

文堀　友彦
〔S.53年卒業〕

のタカラスタンダードに厨房器具メーカと団体申し込みで入社して、電車で一時間ちょっとの通勤圏内にあります。

入社歓迎会で、「高砂」を一節うなったところ、「玉姫殿」の大塚と呼ばれるようになりました。奇遇にも直属の上司が工田照也先生の熱烈なファンで車の中でよく鼻歌(?)で「玉の段」などを合唱させて頂くことも…ばしばです。その直属の上司に、「何か趣味を持たないと…」と言われ心の余裕が持てず、精神衛生上も向上が見られないぞ」と言われ得させられ、やはり、月に一、二度は、世間のせせこましい空間から解放され能楽堂の一角に腰を据え、無我の境地で高尚な居眠りを味わいたい…とはいうものの、腰をもてあましている学生時代とは違い、月日が経つのが早く感じられ、一週間なんてアッと言う間に過ぎ去ってしまいます。学生時代は3年間に約百四十番の能を見れましたが、特に弁当分能会には、弁当付きで…と言われ飛んで行ったのが思い出されます。明日は湊川神社能楽堂、来週は大槻能楽堂、その次は河村能舞台、来週は大槻能楽堂、その次は湊川神社などと、夏休みの学生だった自分が懐しく思われます。とにかく、京都外工能楽部に、かれこれ楼々な想い出を持たれておられるOBの方々の縁のつながりの一つの輪にサークルでもめぐりあえて頂けたらと願う所存でありますので、どうか、今後ともよろしくお願い致します。

・西谷千代

先輩の皆様、今後とも宜しくお願い致します。

・文堀友彦

♡新・OB会員です。よろしく♥♡

♡おめでとうございます♡

〈誕生〉



・中川伸生(S.48年卒業)、妙子(旧・広本・S.49年卒)様御夫妻に、昨年七月、次男凌君が誕生されました。

・又、近藤真幸様(S.47年卒)に、今年3月22日次女・由季ちゃんが誕生されました。

〈結婚〉



・すでに「OBだより」で紹介ずみですが、文堀隆子様(S.51年卒業)が、去年11月6日に結婚され、西部隆子様にかわりました。

・又、森永みちる様(S.53年卒業)も、去年11月26日に結婚され、堀尾みちる様となりました。

本当に、おめでとうございます。

『外大能』日時・曲目決定

第16回外大能が、来る11月24日(土)、例年通り、河村能舞台で開催されます。今年の能楽は、四回生・芝尾洋子さんによる「吉野天人」に決定。又、舞囃子は、二番で、「高砂」他一番(未定)。

OBによる連吟参加者が年々減り、昨年はゆずかに2名でした。よい事と思いますが、今年の11月24日は万障繰あわせの上、現役達の舞台を見、又一人でも多くの方に連吟に参加して頂ければ…と思ってよりです。

!。!。!。!!!。!

6月26日、京都学生連盟主催の合同自治会が京都観世会館にて催されます。我うブからは、三回生・真鍋典子さんによって、舞囃子「熊野」がなされる予定。

現役より。OBの皆様へ

『S.54年度活動方針』　三回生・部長　主原恵子

昨年12月初旬、新部長に選出されて以来早、5ヶ月目を迎えようとしてよります。私は部長という役は最も苦しいけれども、逆から見れば最もやりがいのある役職であると思ってよります。実際部長という役職についてからは苦しい日々が続いてよりますが、反面私の中に何かしら自覚のようなものが、芽ばえて来たように感じられます。

さて、今年も新人生歓てまいりました。今年も昨年同様苦戦をしいられてよります。ーが、一つになって歓誘に来すのでそれほど心配はしてよりません。

本年度のうづの方針としましては、まずうづ内の表現をこれまでより以上にはって行きたいと思ってよります。たとえ部員数が少なくても、うづ自体が団ってよれば何もこわいものは無いと思ってます。そして次は何をやろうかと言う様に、最初から、カリキュラムを立ててやって行く方が、部員の練習に取り組的な事も次々と真剣になってくると思うからです。そしてやる事に練習内容の改善をいます。これまでの事に、こんれをやる。そしてそれを立ててやる。そしてそれに従って行きたいと思ってよります。

能楽を舞うにあたって　四回生・芝尾洋子

今年の自演会で私は「吉野天人」を舞せて頂ける事になりまーた。ずっと前から天人ものを舞いたいと思っていまーたので、この曲に決まりまーた時は感無量でーた。なぜ天人ものを舞いたかったかと言いますと、ただもう天人が最高に美しいと感じるからです。他の能の場合でも同様に天人はれにとっては憧れの的であり、又、私自身の夢、又は理想でもありまーた。それ故この天人を舞うつもりでよります。能を舞うにあたって私のこの心意気とは裏腹に大きな不安がありま す。それは今まで演能なされて来た先輩方がみんな経験なされた事とは思いますが、面をつけるという不安です。果して面をつけてまく舞えるかどうかとても不安です。

最後に一言申しよげたい事は、やはり能を舞せて頂けるという事に他なりません。よ仕舞の練習、謡、舞囃子をやって来て、やはり最高の能を舞せて頂ける事をとてもありがたく幸福に思います。又能は一人で舞えるものではありません。職道先生の並々ならぬ御指導、又、下級生達の支援のもとに舞えるものだと思ってよります。その為にも精一杯舞いたいと思っています。今は四月、桜も盛りの頃、今、方々へ花を見に行き、少しでも吉野天人に近づきたく花ふぶきの下に立たずむ私です。

編集後記

中村様、大塚様、お忙しい中、原稿をよ送り下さい、本当に有難うございまーた。お陰様にて「OBだより NO.4」を作り上げる事ができまーた。又、皆様の御協力により、昨年度会計も難なくおわらせることができました。厚く御礼申しあげます。外年度もよろしくお願い申しあげます。

(会計　真谷)

S.53年度　会計報告

(収入)		
52年繰越	53,785円	(勝手より、30000円をOB会あずにて郵便局へ預金)
53年会ヒ(16名)	96,000円	
	149,785円	
(支出)		
外大能楽対金	60,000円	
OBだより」印刷代	6,530円	
謝礼他文房具代	6,180円	
通信費(切手代)	3,270円	
	75,980円	
(残高)	73,805円	(又、53年残高より30000円を預金)
(現金	13,805円	
預金	60,000円)	

♡お知らせ♡

来る3月3日(土)、新入部員OB交歓コンパが予定されています。場所はまだ未定ですが、現役より連絡があると思いますので、万障繰あわせの上